

市議会 さかいで だより

第 140 号
 平成23年11月1日
 発行 坂出市議会
 編集 議会だより編集委員会
 TEL 0877-44-5022



香風園観月会

9月定例会

9月定例会は、9月9日から28日までの20日間の会期で開催されました。

今定例会では、初日に市長から、坂出市スポーツ振興審議会条例および坂出市体育指導委員条例の一部を改正する条例案を初め、一般会計、特別会計及び病院事業会計の補正予算案、平成22年度の一般会計、12特別会計及び2企業会計の決算認定など計24件が提案され、関係委員会の審査を経て、平成22年度の一般会計の決算認定を閉会中の継続審査としたほかは、いずれも原案のとおり可決、認定しました。

また最終日に追加提案されました坂出市職員懲戒審査委員会委員の任命、坂出市教育委員会委員の任命、坂出市公平委員会委員の選任についての3件の議案に同意するとともに、議会運営委員会より提出されました「漁業用軽油に係る軽油引取税の恒久的な課税免除を求める意見書」を原案のとおり可決し、閉会しました。

主な掲載内容

一般質問	2~4	議案審議結果	7
主な議案の概要	5	可決した意見書・	8
委員会の動き	6	人事案件	

一般質問

市政について聞きました

9月定例会では、9月14日、15日、16日の3日間にわたり個人による一般質問が行われ、10名の議員が市の諸課題について質問をしました。主な内容は次のとおりです。

～質問の主な項目(質問順)～

野角満昭(日本共産党議員会)

- ・住宅リフォーム助成制度について
- ・無料低額診療事業について
- ・市民後見人制度について

若谷修治(市政の窓)

- ・教育行政について
- ・農業行政について
- ・東日本大震災の被災地から学ぶことについて

脇芳美(新国会)

- ・市長の政治姿勢について
- ・市有地の有効利用について
- ・生活保護行政について

出田泰三(市民の声)

- ・東日本大震災について
- ・市制70周年について
- ・町づくりについて

別府健二(新国会)

- ・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・道路行政について

松田実(社会民主党議員会)

- ・防災対策について
- ・東日本大震災と福島原発事故を教訓とした防災対策について
- ・熱中症予防について

村井孝彦(市民グループ未来の会)

- ・戦略性を持った活性化対策について
- ・広報、広聴の充実について
- ・福祉行政について

楠井常夫(新国会)

- ・市長の政治姿勢について
- ・農業行政について
- ・子育て施策について

斉藤義明(市民の声)

- ・行財政改革について
- ・情報公開について
- ・ハローズ坂出林田店について

松成国宏(公明党議員会)

- ・教育行政について
- ・観光行政について
- ・高齢者の安全・安心の町づくりについて

なお一般質問の詳細や過去の質問は、市議会ホームページの会議録検索システムでご覧いただけます。(11月末に更新予定です)

野角満昭議員 (日本共産党議員会)

▼住宅リフォーム助成制度導入を

問 この制度は、民間住宅の改修に対し工事費の1割から2割程度の補助を行うことにより、市民の消費意欲を刺激し、地元業者の仕事の増加を促す効果がある。

地域経済の活性化や人口増対策の点からも、この制度を導入してはどうか。

答…建設経済部長

現在生活している住宅をより快適な住環境に改善するリフォームは、

別府健二議員 (新国会)

▼市道東臨港2号線の全面開通の見通しは

問 市道東臨港2号線は、県道33号線から北側部分の一部を除き開通しているが、全面開通の見通しは。

答…建設経済部長

当該道路の整備については、現在県道33号線との交差点、約70mの工事が残っていますが、今年度中の開通を図るべく、工事発注の準備を進めています。

県道から南側の臨港線跡地について

住宅の長寿命化と定住促進にもつながり、地元業者が工事を施工することになれば、経済的波及効果も期待できますが、現在本市が行っている各種支援策との整合性を図る必要があります。

本年度から民間住宅の耐震改修工事への支援も行っていることから、その実施状況や県並びに県内他市町の状況も注視する中で検討します。



では、先般、地元自治会より遊歩道整備の陳情書が出され、また市長の出前ミーティングでも同様の意見が出ており、おおむね地元の意見集約が整ったものと理解しています。

今後は、国、県の関係機関と協議を重ねながら事業実施に向けた検討を行います。



整備が進む東臨港2号線

楠井常夫議員
(新 政 会)

▼市営葬祭事業の今後の見通しは

問 昨年度実施した事業再検討会において、市営葬祭事業の見直しが決めたが、その理由は。

また、今後どのようにして見直しを行っていくのか。

答 … 市民生活部長

市営葬祭の利用状況は、平成20年度18・9%、平成21年度13・9%、平成22年度は9・3%と、民間事業者の増加に伴い、年々利用率が低下

若谷修治議員
(市 政 の 窓)

▼学校教育で食育の推進を

問 子どもの食育は、生涯にわたって健全な心と体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるなど極めて重要である。本市の食育の取り組みは。

答 … 教育長

本市においては、平成22年度に坂出市食育推進計画を策定し、学校給食を通じた食育推進と地場産物の利用推進に取り組むこととしています。食育は人が生きる上での基本に係わるものであり、学校教育において

しています。

昨年度、行財政改革推進委員会等において議論を重ねた結果、低料金プラン利用者への対策を講じる条件のもとに事業廃止との結論に至りました。

現在、市営葬祭の今後のあり方について検討委員会を設置し検討を行っており、公共としての役割を十分に考慮する中で、今年度中に結論を出していきます。



も、学校給食を中心しながら家庭科や体育、生活科等において、食に関するさまざまな学習や体験活動を行い、食育への理解を深めています。今後とも子どもたちが発達段階に応じて、食に対する正しい理解と望ましい食習慣を身につけるため、地域や保護者の方々の協力を得ながら食育の推進に努めていきます。



松田実議員
(社 会 民 主 党 議 員 会)

▼幼児や高齢者への熱中症対策は

問 今年も昨年に匹敵するほどの猛暑が続き、6月23日から9月6日までの間に熱中症で43人が病院に搬送され、そのうち21人は65歳以上の高齢者である。

幼児や高齢者などの弱者への熱中症予防対策は。

答 … 健康福祉部長

熱中症予防の市民への啓発活動として、市ホームページや市広報への

斉藤義明議員
(市 民 の 声)

▼ハローズ坂出林田店開店に向けた交通安全対策は

問 林田町のさぬき浜街道沿いに、24時間営業の大型スーパーが12月初旬に開店予定である。交差点付近の渋滞や周辺道路の安全面での問題が危惧されるが、交通安全対策は。

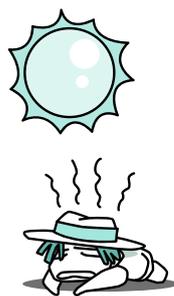
答 … 市民生活部長

同店が4月に独自に行った交通量調査をもとに、開店後の交通分析を行った結果は、円滑な交通処理が可能であり、出店による影響は軽微であると予測していますが、開店後の

掲載、ケーブルテレビ等で周知を図ってきました。

さらに高齢者対策として、民生委員への熱中症に関する資料提供、ケアマネジャーや見守り支援員による高齢者へのパンフレットの配布等を行っています。

また保育所等では、保護者への情報提供のほか、熱中症予防情報等に留意し、こまめな水分補給や外出時の着帽等の予防対策を講じています。



交通量の変化や渋滞状況等を見ている中で、状況に応じて交通量調査の実施を県等の関係機関を含めて、同店とも協議していきます。

答 … 建設経済部長

同店周辺の市道新開北庄司線や市道府中加茂林田2号線は、いずれも幅員が4mから5mで、民家が立て込み、生活道路や通学路として使用されています。

開店後の交通状況等を注視し、道路拡幅等が必要であれば検討します。



出店地の周辺道路
(市道新開北庄司線)

脇 芳美 議員
(新 政 会)

▼新市立病院にホスピス病棟の設置を

問 我が国の死亡原因の第1位は、がんであり、年間約30万人が命を落としている。新築を計画している市立病院に、末期がんとなった患者に緩和ケアを行うホスピス専用病棟を設置してはどうか。

答：市立病院事務局長

ホスピス専用病棟については、設置基準により相当な面積を要することから新病院での設置は検討している。

村井孝彦 議員
(市民グループ未来の会)

▼市民や企業・各種団体と行政が一体となったまちづくりを

問 今年、市長就任3年目を迎え、また第4次坂出市総合計画の中間期にも当たる。

新たに出した施政方針の6つの基本目標の実現には、市民・企業・各種団体と行政が一体となった協働の推進が必要であると強く感じるが、市長の見解は。

答：市長

今年の施政方針においても、一番

ません。

しかしながら、現在も院内の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、社会福祉士で構成する緩和ケアチームが、がん患者の苦痛となる症状の緩和に努めるなど、ホスピスと同様の緩和ケアを提供しており、新病院においても緩和ケアチームの活動を強く推し進めていきます。



新市立病院の外観イメージ

に挙げているのは「市民参加のまちづくり」であり、これは私の施策の大きな柱の一つです。

これまでも出前ミーティングや市長サロン、目安箱の設置等を進めてきました。また、各種の地域行事に参加し、市民の声や要望に耳を傾けたり、さまざまな業界や各種団体との情報交換に努めています。

今後とも市政における目標の共有に努め、さらにあらゆる施策を通じて市民、企業等との協働のまちづくりを進めていきます。



松成国宏 議員
(公明党議員会)

▼救急医療情報キットの配布を

問 高齢化に伴い、市内にもひとり暮らし高齢者が多くなっている。

緊急時に迅速な救急活動ができるように、かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を入れた救急医療情報キットを配布してはどうか。

答：市長

救急医療情報キットは、高齢者や障がい者の安全・安心を確保するため、医療情報や診察券、緊急連絡先等の情報を専用の容器に入れ、救急

出田泰三 議員
(市民の声)

▼坂出市史を新たに編纂しては

問 坂出市史は、通史、年表編、資料編の3部に分かれているが、いずれも編さんから長い年月が経過している。また、通史は古代に関する記述が少なく、戦後の記録もほとんど記載されていない。

来年、市制70周年を迎えるのを機会に、坂出市史を新たに編さんしてはどうか。

答：副市長

本市の市史は、最初に市制10周年

時に駆けつけた救急隊員がすぐに探し出せるように、ごこの家庭にもある冷蔵庫に保管するのが望ましいと言われています。

高齢化が進む中で、救急時の対応に、このキットは非常に有効であると考えており、配布対象者や方法等について民生委員等の意見を聞きながら、来年度実施に向けて検討します。



救急医療情報キット(丸亀市)

を契機に通史を編さんし、続いて市制40周年の際に資料編と年表編の編さんを行い、以来30年経過していません。

市史の編さんは、本市の歴史的発展や変遷を顧み、郷土に対する市民の認識を高めるとともに、資料を永く後世に継承するものであり、必要性は認識しています。

市史編さんには、正確性と相当な期間を要することから、今後早い段階で方向性を出していきます。



坂出市史

議案および決算認定など26件を可決しました。

一般会計決算認定については、継続審査となりました。

9月定例会では、市長から条例改正案1件、物品購入契約や市道の認定などの議案4件、人事議案3件、補正予算案4件の計12件と平成22年度の決算認定15件が提案されました。

主な議案の概要は、以下のとおりです。

(審議結果は7ページをご覧ください。)

● 予算関係 ●

補正予算案については、一般会計、坂出港湾整備事業特別会計、介護保険特別会計、市立病院事業会計の計4件でした。

一般会計補正予算案については、8億3224万円を増額し、補正後の予算総額を249億360万3,000円とするものです。

主な内容は、

・災害時要援護者支援台帳・マップ整備事業
(災害時要援護者に関する台帳・地図情報等の作成)
650万円

・新設統合小学校準備事業(坂出小学校備品購入等)
2,450万円

・坂出小学校整備事業(現校舎の解体撤去等)
9,470万円

・子育て支援対策臨時特例基金事業
(保育所、幼小中学校への防災頭巾配付、緊急地震速報機器設置等)
2,472万4,000円

・財政調整基金積立金
(平成22年度の赤字額の2分の1相当を基金に積立)
5億円

● 条例関係 ●

スポーツ基本法の制定に伴い、本市の関係条例の用語等の改正を行うものです。

● 物品購入契約 ●

坂出消防署に設置する消防緊急通信司令施設司令台を1億2,285万円で購入するものです。

● 市道の廃止・認定 ●

市道馬場線の起点の変更に伴い、一旦、同路線を廃止し、新たに認定するものです。

議案に対する質疑

▼平成22年度一般会計決算認定について

問 市税が平成21年度と比較して約4億円減収となった要因は。

答 個人市民税の所得割が約1億7,800万円の減少、法人市民税の法人税割が約1億4,300万円の減少となるなど、厳しい経済情勢の中、個人・法人の所得の減少が市税減収の大きな要因と推察されます。

また、固定資産税についても、地価の下落が止まらず、土地においては約1億3,000万円の減少となつていきます。

問 家庭ごみ袋有料化による収益額と市民への還元策、また家庭ごみの排出抑制効果は。

答 平成22年度のごみ袋の収益額は約6,500万円です。市民への還元策としては、ごみ集積施設設置補助金、再生资源回収奨励費用補助金、ごみ分別排出奨励金、生ごみ処理容器・処理機購入助成金を行っています。

また、ごみの排出量は、有料化前後の30カ月の合計で比較すると約16・3%の減少となっています。

9月定例会の日程

● 9月9日

本会議 提案説明
委員会 議会運営委員会の審査

● 9月13日

本会議 議案質疑
決算審査特別委員会の設置

委員会 議案の委員会付託
決算審査特別委員会の審査

● 9月14日・15日

本会議 一般質問(個人)

● 9月16日

本会議 一般質問(個人)
委員会 議会運営委員会の審査

● 9月20日

委員会 教育民生委員会の審査

● 9月21日

委員会 市民建設委員会の審査

● 9月22日

委員会 総務消防委員会の審査

● 9月28日

議員総会 委員長報告
本会議 委員長報告への質疑
討論・採決
追加議案の提案説明
質疑・討論・採決

委員会の動き

各委員会では、9月定例会で付託された議案9件、決算認定15件について、それぞれ審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

総務 消防

▼災害時要援護者への支援を

災害発生時に自力で避難することが困難な住民の状況を把握し、地域住民の協力を得て避難支援体制の整備を図るため、災害時要援護者台帳やこれに関する電子地理情報を作成するとの説明を受け、委員より、台帳への登録方法をただしたところ、当局からは、関係者が直接要援護者へ働きかけ、情報を把握する同意方式、または制度について周知した上で、希望者のみを登録する手上げ方式のいずれかを検討しているとの答弁がありました。

これに対し委員より、大規模災害時に家族等の支援がなく自力で避難できない災害弱者に対し適切な支援を行い、被害を軽減するため、登録方法については十分研究・検討するよう要望がありました。

また当委員会に付託された議案・決算認定については、いずれも異議なく了承しました。

教育 民生

▼介護予防の推進を

介護保険特別会計決算認定の審査過程において、委員より、本市の要介護、要支援認定者数をただしたところ、ここ数年は毎年3千人程度で推移しているが、75歳前後から介護サービスの利用度が高くなることから勘案すると、今後団塊世代の高齢化とともに認定者数が増加していくとの見通しが示されました。

これに対し他の委員より、介護予防事業は、高齢者が要支援・要介護状態になることを遅らせたり、より悪化するのを予防する効果があることから、今後介護サービス利用者の増加が危惧される中、多くの高齢者の参加を促すような魅力的なプログラムの方策や事業周知を徹底し、一層の利用率向上を図るよう要望がありました。

また当委員会に付託された議案・決算認定については、いずれも異議なく了承しました。

市民 建設

▼鉛製給水管の早期解消を

水道事業会計決算認定の審査過程において、委員より、鉛製給水管の解消に向けた本市の対応をただしたところ、当局からは、本来所有者負担で行う宅地内の鉛製給水管であっても、配水管の布設替えの際には、鉛管解消のため、水道メーターまでは、水道局が取り替えを行っているとの答弁がありました。

これに対し委員より、市民の命の源とも言うべき水道水のよりの安全性を図るため、鉛管解消に向けた取り組みの強化は必要であると指摘し、現在行っている対応はもとより、公共施設における鉛管の使用状況の調査や個人に対する宅地内鉛製給水管取り替え工事の助成制度の検討など、積極的な方策を求めるとの要望がありました。

また当委員会に付託された議案・決算認定については、いずれも異議なく了承しました。

決算審査特別

平成22年度一般会計決算認定については、12月定例会まで閉会中も継続して審査を行うこととした。

委員構成は次のとおりです。

- ◎ 楠井常夫 ○ 別府健二
- ◎ 村井孝彦 ○ 末包保広
- ◎ 大前寛兼 ○ 若杉輝久
- ◎ 山条忠文 ○ 若杉輝久
- ◎ 委員長 ○ 副委員長

委員会先進地視察

◆総務消防(7月11日～13日)

- ・鹿児島県出水市 (危機管理・防災対策)
- ・鹿児島県薩摩川内市 (定住人口増加対策)
- ・福岡県大野城市 (ワンストップ総合窓口)

◆教育民生(7月5日～7日)

- ・滋賀県栗東市 (乳幼児保育総合化・食育推進計画)
- ・滋賀県守山市 (すこやかまちづくり行動プラン・少人数学級)

◆市民建設(7月13日～15日)

- ・石川県金沢市 (第2次学校教育金沢モデル・金沢21世紀美術館)
- ・山口県山口市 (資源物ステーション)
- ・福岡県柳川市(柳川ブランド)
- ・熊本県玉名市(音楽の都づくり)

◆議会運営(7月1日)

- ・香川県観音寺市(議会基本条例)

平成23年9月定例会審議結果一覧

議案番号	件名	付託委員会	結果
	出納検査の結果報告書受理について		報告
	健全化判断比率の報告書受理について		報告
	資金不足比率の報告書受理について		報告
	経営健全化計画の実施状況報告書受理について		報告
	専決処分事項の報告書受理について		報告
	決算審査特別委員会の設置及び委員選任について		設置・選任
議案第12号	坂出市スポーツ振興審議会条例および坂出市体育指導委員条例の一部を改正する条例制定について	教育民生	原案可決
議案第13号	物品購入契約について	総務消防	原案可決
議案第14号	平成22年度坂出市水道事業剰余金処分について	市民建設	原案可決
議案第15号	市道路線の廃止について	市民建設	原案可決
議案第16号	市道路線の認定について	市民建設	原案可決
議案第17号	平成23年度坂出市一般会計補正予算(案)(第2号)	総務消防	原案可決
議案第18号	平成23年度坂出港港湾整備事業特別会計補正予算(案)(第1号)	市民建設	原案可決
議案第19号	平成23年度坂出市介護保険特別会計補正予算(案)(第1号)	教育民生	原案可決
議案第20号	平成23年度坂出市立病院事業会計補正予算(案)(第1号)	教育民生	原案可決
議案第21号	坂出市職員懲戒審査委員会委員の任命について		同意
議案第22号	坂出市教育委員会委員の任命について		同意
議案第23号	坂出市公平委員会委員の選任について		同意
認定第1号	平成22年度坂出市一般会計決算認定について	決算特別	継続審査
認定第2号	平成22年度坂出市国民健康保険特別会計決算認定について	教育民生	認定
議案第3号	平成22年度坂出市国民健康保険と島診療所特別会計決算認定について	教育民生	認定
認定第4号	平成22年度坂出市葬祭事業特別会計決算認定について	市民建設	認定
認定第5号	平成22年度坂出港港湾整備事業特別会計決算認定について	市民建設	認定
認定第6号	平成22年度坂出市王越診療所特別会計決算認定について	教育民生	認定
認定第7号	平成22年度坂出市下水道事業特別会計決算認定について	市民建設	認定
認定第8号	平成22年度坂出市老人保健特別会計決算認定について	教育民生	認定
認定第9号	平成22年度坂出駅北口地下駐車場事業特別会計決算認定について	市民建設	認定
認定第10号	平成22年度坂出市介護保険特別会計決算認定について	教育民生	認定
認定第11号	平成22年度坂出市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	総務消防	認定
議案第12号	平成22年度坂出市介護保険介護予防支援事業特別会計決算認定について	教育民生	認定
認定第13号	平成22年度坂出市後期高齢者医療特別会計決算認定について	教育民生	認定
認定第14号	平成22年度坂出市立病院事業会計決算認定について	教育民生	認定
認定第15号	平成22年度坂出市水道事業会計決算認定について	市民建設	認定
	議員派遣について		決定
意見書案第1号	漁業用軽油に係る軽油引取税の恒久的な課税免除を求める意見書について		原案可決



議会の本会議を傍聴しませんか

議会の本会議を傍聴しましょう!

- 本会議はどなたでも傍聴することができます。
- 次回の定例会は、12月に開催する予定です。
- 一般質問は、KBNで放映しています。
- 本会議の会議録は、図書館または市議会ホームページで公開しています。(更新は11月末の予定です)
- 詳しくは議会事務局(44-5022)へおたずねください。

議員研修会を開催しました。



8月4日に、元北海道栗山町議会議務局長の中尾修氏(東京財団研究員)を本市に招き、議会基本条例について議員研修会を開催しました。地方自治体は、市長と議会の二元代表制であり、それぞれが主権者である市民から直接選挙で選ばれています。その中で議会は、合議制の機関として、市民にとって最良の意思決定を行う使命が課せられています。講演の中で中尾氏は、「旭山動物園の人気があるのは展示方法を徹底的に変え、動物の生活のすべてを見せる姿勢にある。この点は議会改革と共通している。議会も市民に対し、普段の活動や議員がどれだけ悩みな

がら判断しているかなどを徹底して公開することが重要です。」と話されました。栗山町議会は、平成18年に全国で初めて議会基本条例を制定しました。議会の基本的なルールを定めた議会基本条例は、住民の意思を政策的に的確に反映させるため、「市民参加」や「情報公開」を盛り込んでおり、議会の最高規範に位置づけられるものです。坂出市議会においても、市民に開かれた議会をめざし、今年度中の条例制定に向け、現在、議会運営委員会を中心に研究、検討を行っています。

編集後記

太平洋戦争の敗戦に続く国難とも言われる東日本大震災から半年以上が過ぎました。二つをつなぐキーワードは『再生』です。敗戦占領は、焼け野原となった国土だけでなく精神的にも深刻な傷痕を残しました。戦後の発展を担い、暗い時代を乗り切った先人の功績はすばらしいものです。

日本は今、大震災からの復興がはかどらないばかりか、原発事故では多くの人々が故郷から遠く離れたままです。いつ家に帰ることができるか。これからの生活はどうなるのか。被災者の不安やいらだちはいかばかりか……

だが、時代は変わっても、私達はこの敗戦から再生した日本人の血を受け継いでいます。今、自分に何ができるか私達一人一人が力を出し合い必ず復興できると信じ、たじろがず、前進しよう。

ガンパロウ日本！

末包保広

議会だより編集委員会

委員長 副委員長

植條敬介 末包保広

委員

出田泰三 松成国宏

意見書

◆漁業用軽油に係る軽油引取税の恒久的な課税免除を求める意見書

平成21年度の軽油引取税の一般財源化により、来年3月をもって課税免除制度が廃止されますが、漁業はコストに占める燃油の割合が極めて大きいことから、漁業者の経営を維持するため、恒久的な課税免除を求める意見書を国及び政府に対し送付しました。

9月定例会で 同意した人事案件

(敬称略)

◎坂出市職員懲戒審査委員会委員

前川昌也
楠井常夫
吉田清志
加藤悟史
樋本保男

◎坂出市教育委員会委員

斉藤恵子

◎坂出市公平委員会委員

佐野孝次

視察来庁記録

8月 3日

静岡県島田市
(市立病院の経営改善)

10月 12日

徳島県小松島市
(線引き制度の廃止)

14日

群馬県藤岡市
(防災・災害情報の発信)

19日

山口県下関市
(港湾特会の経営健全化)

25日

京都府舞鶴市
(学校給食の運営)

26日

秋田県男鹿市
(さかいでブランド認定制度)